

# エリア ウエッツ

峡東教育事務所  
 地域教育支援スタッフ  
 TEL 0553-20-2737  
 FAX 0553-20-2733

閲覧・配布をお願いします。増す刷り配布はご自由にどうぞ。 この情報紙は山梨県庁のホームページでも掲載中です。  
<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyoiku-hym/index.html>

## 「小さなことの積み重ね」

◇中学3年生(当時)のB君は、よく問題を起こす生徒でした。気持ちは優しいのですが、意志が弱くどうしても立ち直ることができません。

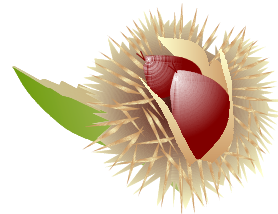
ある日、他の中学校の生徒と暴力事件を起こしてしまいました。

担任は、両親に会うために家庭訪問をしました。彼の家は、小さな中華料理店を経営していました。申し訳なさそうに出てきた両親と少し話をしたそうです。

担任は、B君に会うために部屋に行きました。担任は、部屋の中の様子を見てびっくりしたそうです。ベッドや勉強机はもちろんですが、テレビ、ステレオ、ギター、なんと冷蔵庫まであったと言います。

そのことについて、両親から話を聞きました。夫婦で夜遅くまで仕事をしているので、B君はどうしても一人でいることが多いそうです。一人でいてもさみしくないように、小さい頃から欲しがる物は何でも買ってあげたそうです。しかし、中学生ぐらいになると、どんどん大きな物を欲しがるようになりました。ダメだというと、文句を言ったり、暴れたりするようになったそうです。結局、本人の欲しがる物はほとんど買い与えていたそうです。

はじめは小さなおもちゃだったでしょう。「いいよ。いいよ。」と言っているうちに、どんどん高価な物になっていった。中学生になってからがまんさせようとしても手遅れだったという訳です。



### 「やさしさ」と「がまん強さ」

子どもが小さい頃に、身につけさせる力は、「やさしさ」と「がまん強さ」の二つが大切だと感じています。

科学的な根拠はありませんが、「やさしさ」や「がまん強さ」は、後からではつきにくいのではないかと思います。

「やられたらやり返せ。」と言われて育った子は、とんでもないいいじめっ子になりました。

「心のない秀才」は人殺しのサリンを作りました。

「飲んだら乗るな」。このことをがまんできない若者は、小さな子どもを3人も事故で死なせてしまいました。ほとんどの服役囚が、最初は小さな日用品や食品を万引きしたことが凶悪犯罪への始まりだったそうです。

「人よりできた時より、人にやさしくした時に 思い切りほめて育てなさい。」

という教えがあります。

「他人に負けるな!」という強迫観念と競争意識が、あまりにも強すぎる世の中になっている気がします。

「やさしさ」と「がまん強さ」の小さなことの積み重ねが、その人の人格の基礎になっていくのではないのでしょうか。

# あいさつは「家庭・地域・学校」から

朝通学する子どもたちとすれ違くと、「おはようございまーす。」と元気のいい挨拶をしてくれる子たちがいます。朝早くから重いランドセルを背負って、長い道のりを歩いている子どもたちが、元気に明るくあいさつができるだけでも「りっぱだなあ。」と感心してしまいます。

あいさつ（挨拶）の語源は、仏教語の「一挨一拶（いちあいいちさつ）」にあると言われています。「挨」という文字には、「押し開く・互いに近づく」と言う意味があり、「拶」には、「せまる・すり寄る」という意味があるそうです。人と人が出会い、お互いに心と心を通わせることが「挨拶」なんですね。

日頃から地域の人々が挨拶をかわしている地域では、地域のコミュニケーションがしっかり取られていて、防犯効果もあります。

さらに、挨拶がしっかりできる子は、「対人関係力」があり、問題に直面したときも、周りの人に相談して解決していくことが比較的多いものです。

## 《あいさつはまず家庭から》

「あいさつ運動」の声が全国あちらこちらで聞かれます。自然に「あいさつ」ができる社会になってほしいものです。やはり基本は「家庭から」だと思います。

「いつまで寝てるの！早く起きなさい。」  
「うるさいなあ！」  
で一日が始まるのか、  
「おはよう、今日もいい天気だよ。」  
「おはよう、ほんとだね。」  
で始まるのか、大きな違いですね。

### ◇挨拶・返事ができる子にするために…

- ①親から進んで挨拶をしましょう。
- ②夫婦や家族も挨拶をしましょう。
- ③「挨拶・返事・言葉づかい」にこだわって子育てをしましょう。

### ◇「ありがとう」「ごめんなさい」が言える子にするために…

- ①よいことはしっかりほめ、悪いことはき然と叱りましょう。
- ②「自分だったら…」と相手の立場に立って考えさせましょう。
- ③夫婦や家族も「ありがとう」「ごめんなさい」と言えるように。

多くの学校で、地域ぐるみによる「あいさつ運動」が行われています。

今回、笛吹市の石和中学校を訪問させていただきました。

数年前から、地域の方と石和中学校をすばらしい学校にする活動を実施しています。その一つとして「あいさつ運動」があります。毎週月曜日と金曜日の朝、石和中のPTA役員をはじめとする有志の方々、地域の区長さんたちが、校門などに立って挨拶を交わしながら交通安全も呼びかけていました。

笑顔で挨拶をしてくれる子が多く、私たちもさわやかな気持ちになりました。

## 石和中学校の「あいさつ運動」

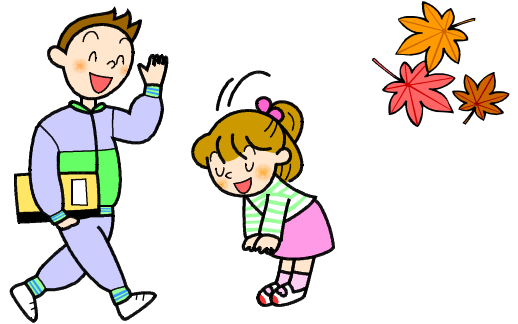


声かけて 声かけられて 広がる輪！  
「おはよう」で始まる 明るいい一日

# 「あいさつ」は「相手を思いやる心」

朝から寝るまでの主な挨拶です。

おはよう・おはようございます  
いただきます・ごちそうさま  
いってきます  
・いってらっしゃい  
こんにちは・こんにちは  
ありがとう・どういたしまして  
ごめんなさい・いいよ  
こんばんは・こんばんは  
ただいま・おかえりなさい  
おやすみ・おやすみなさい



また、社会に出るということは、いろいろな人と会うことです。その人間関係を円滑にする基本が挨拶だと思えます。途中で会社を退職した人の多くが、「人間関係がうまくいかない」という理由をあげていたという調査もあります。

(リクナビ 2008)

人間一人では生きていくことはできません。いろいろな人と人間関係の中で、コミュニケーションをとりながら生きていくわけです。

よく子どもたちに「元気よく大きな声で挨拶をしよう。」と言うと、

「おはようございまーす!!!」と全身で叫ぶ子がいます。元気があっていいのですが、耳元で大声を出すので、耳鳴りがする時もあります。

ここまでしなくても、自然に「おはようございます。」と笑顔で言えればいいと思います。中にはニコッと笑って会釈だけする子もいます。いろいろな挨拶があっていいですね。

「お元気ですか。」とか、「今日もいい一日でありますように。」そんな気持ちを込めた挨拶が大切ですね。それは、「相手を思いやる心」だと思えます。

この中で自分から言っている挨拶はいくつぐらいあるでしょうか？

また、挨拶は言葉のキャッチボールだということと言えます。こうした挨拶は、人と人とのコミュニケーションのきっかけであり、人間関係づくりにも大切なものであることが分かります。

(例えば)

- ◆「おはよう。今日もいい天気だよ。」
- ◆「ごちそうさま。今日のご飯すごくおいしかったよ。」
- ◆「ありがとう。助かったよ。」
- ◆「ただいま! 今日のご飯は何?」

というように、お互いの話が続き、会話の輪が広がっていくのです。

一般企業の人事関係者の話を聞くと、まず社会人になって大切なことは2つ。

①時間を守ること

②挨拶がきちんとできること

自分が遅刻をすれば、会社の仲間や取引先の人など多くの人に迷惑をかけてしまいます。



# 「ほめることの大切さ」



## ～モンスターペアレントにならないために～

最近、「モンスターペアレント」という言葉を時々耳にします。学校に理不尽な要求をくり返す親のことだそうです。私自身が親なので、「失礼な言葉だなあ。」と思いつつ、もし本当であるなら大変なことだなあと感じています。なぜなら、学校も家庭も「子どもたちを良くするためにはどうしたらいいか」という同じ目的を持っているはず。その学校と家庭がいがみ合っているのは絶対に子どもにとっていい影響はないと思うからです。

「モンスター」とは「怪物」のことであり、言わば「破壊者」です。それは、学校を破壊するだけでなく、大切なわが子をも破壊してしまいます。そうならないためには、どうしたらいいのでしょうか。

### 《ペアレントトレーニング》

#### 子どもの行動の整理の仕方

#### 子どもの行動を3つに分類する。

##### 1) これからも続けてやってほしい行動

- ・食後すぐに片づけをした。
  - ・自分から「おはよう」と言った。
- ##### 2) できるだけやらせたくない行動
- ・宿題をせずいつまでもテレビばかり観ている。
  - ・トイレの電気を点けっぱなしにする。

##### 3) 2度とやらせたくない行動

- ・ベランダに登って遊んでいた。
- ・身体の不自由な子を冷やかした。

#### 子どもの行動を分類して記入する。

- できるだけ具体的に書くこと
- 目に見えること、聞こえること、数えられる行動を書くこと
- 親の願望ではなく、実際の子どもの行動を書くこと

#### 「やってほしいこと」はどんどんほめる

#### ほめるポイント

##### ①小さなことでも、よい行動を探してその場でほめる。

- ・「今の返事、明るくて良かったよ。」
- ・「今日の笑顔とってもいいね。」

##### ②具体的な行動や回数に注目してほめる

- ・「今日は注意2回でゲームをやめられたね。」

##### ③徹底的にほめる

- ・特に「やさしさ」「がまんしたこと」は、ほめすぎるぐらいほめる。

##### ④皮肉を言いながらほめない。

- ・「今日はめずらしくお手伝いしてくれたね。きっと明日は雨ね。」
- ・「あなたが100点取れるくらいだから、みんな100点だったろうね。」

##### ⑤2度とやらせたくないことは、理由と親の気持ちを真剣に伝える。

#### ほめるときの大切なポイント

- ①近くによって
- ②子どもの目を見て
- ③明るい声で
- ④表情豊かに
- ⑤動作を入れて



#### ほめるときの3要素

- ①タイミング → 即座に
- ②行動をほめる → できるだけ具体的に
- ③単純にほめる → 批判・皮肉はなし

#### ほめる練習をする

- ①1週間子どもの行動をメモする。
- ②「ほめること」を具体的に書く。
- ③1週間で1回以上できそうなことに○を付ける。
- ④○を付けた行動から3～5つ選ぶ。
- ⑤子どもがその行動をしたとき、すぐにほめる。

これを1ヶ月間続けてみたらいかがでしょう。

子どもへも、学校へも、「認めてほめる」心構えも大切なのではないでしょうか。

